

## まちの将来像

本町は、穏やかな気候と緑の里山、栗山川、九十九里浜といった豊かな自然に恵まれ、先人から受け継いだ歴史文化や食文化、地域コミュニティの温かさも残る、暮らしやすいまちとして発展してきました。

現在の本町では、成田国際空港の更なる機能強化を契機とした地域振興や圏央道等の整備による広域アクセスの向上等に伴う産業振興、住宅の立地等が期待されており、新たな展望に向けまちづくりが着実に進められています。

しかしながら、近年では人口減少が続き、高齢化も進行しつつあります。年間出生数が100人を割り込むなど少子化も著しくなっており、まちの未来を展望する際の大きな課題となっています。

まちの将来を展望するためには、人々が安心していつまでも住み続けたいと思えるような地域づくりを推進し、担い手となる若者や子育て世代の移住・定住を促して、一定規模の人口を維持することが引き続き不可欠です。

これからの本町には、一人ひとりの自分らしさと他者を尊重する心を育みつつ、様々な人々が集いつながり、みんなで実行していくまちづくりが重要です。

また、自然との調和のもと、町民一人ひとりが幸せを実感でき、災害にも強い安心で安全なまちづくりが期待されています。

さらには、農業や商工業の振興、様々な交流が生まれる環境づくり、それらにより人が行き交い賑わいが生まれるまちづくりも望まれます。

このようなことから、「目指すまちの姿」を次のとおりとします。

## 人と自然と賑わいがつなぐ 『幸せ実感』のまち 横芝光

令和15年度（2033年度）の人口  
約20,000人

## ごあいさつ

横芝光町は、豊かに広がる田園や南北を流れる栗山川、雄大な海岸線の九十九里浜といった豊かな自然と、温暖な気候に恵まれた町です。

現在、首都圏中央連絡自動車道や銚子連絡道路の整備、成田国際空港の更なる機能強化が進められており、本町を取り巻く環境は大きな変化を迎えています。

一方、人口減少と少子高齢化による地域経済の縮小や地域の担い手不足、温暖化による災害リスクの増加など様々な課題があります。そのため、デジタル技術の活用（DX）や持続可能な開発目標（SDGs）、幸福度（Well-being）などを踏まえつつ、一人ひとりを尊重する地域づくりや安心安全なまちづくり、地域の賑わいづくりなどに取り組んでいくことが必要です。

このような基本認識のもと、将来の発展を展望し、長期視点に基づいたまちづくりを進めるうえで、望ましい方向と目標を定め、町民の皆様との協働により総合的かつ計画的な行政を推進し町政運営の指針とするため、第3次横芝光町総合計画を策定しました。本計画は、成田国際空港の更なる機能強化や首都圏中央連絡自動車道の整備による効果の最大化を図るとともに、未来に向けた人材育成に取り組み、防災体制や防犯対策を強化し、さらには農業の振興や起業・創業を促進することを重点としたほか、地方創生をも一体的に推進するものです。また、本計画では、行政のみならず町民の皆様をはじめ、本町に関わる全ての人々や事業者、関係機関等とともに、まちづくりに取り組んでいくこととしています。

今後は、本計画の実践を通じ本町に関わる多くの方々がお互いに協力し、豊かな自然を活かし、産業の振興と交流を生み出すことで、町民一人ひとりが幸せを実感できるまちづくりを目指してまいります。

令和8年3月 横芝光町長 佐藤 晴彦

## 第3次横芝光町総合計画 概要版

令和8年3月 発行  
発行：横芝光町  
編集：企画空港課  
〒289-1793 千葉県山武郡横芝光町宮川11902番地  
TEL. 0479-84-1211（代表）  
URL: <https://www.town.yokoshibahikari.chiba.jp>

## 概要版

# 『幸せ実感』のまち 横芝光

## 人と自然と賑わいがつなぐ

### 第3次 横芝光町総合計画

横芝光町

## まちづくりの理念

「まちづくりの理念」とは、行政のみならず、町民をはじめ横芝光町のまちづくりに関わる全ての人々が共有すべき基本的な姿勢をいいます。

これまで本町では、第2次横芝光町総合計画のもと、『協働と創造による 地域力発揮のまちづくり』を理念として、まちづくりを進めてきました。わが国の他の地方と同様に本町でも人口減少と少子高齢化が進行しており、これらへの対応が大きな課題となっています。

これらの課題に取り組みつつ本町の将来を切り拓くためには、成田国際空港の更なる機能強化をはじめ、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）や銚子連絡道路の整備を追い風としながら、多方面で急速に普及の進むデジタル技術を効果的に取り込み、地域の活性化を図っていく必要があります。

同時に、本町のもつ豊かな自然、歴史、文化、農産品などの地域資源や、人のつながりを守り育てていくことも重要です。

これからの本町のまちづくりには、行政や町民をはじめ本町に関わる全ての人々、事業者や大学等研究機関も含めた『だれも』が横芝光町の未来を想い、アイデアを出し合い、共に行動して創り上げていくことが大切です。

このようなことから、「まちづくりの理念」を次のとおりとします。



だれもが参画する  
ともにつくる  
まちづくり

《計画の期間》

年度	2026 令和8	2027 令和9	2028 令和10	2029 令和11	2030 令和12	2031 令和13	2032 令和14	2033 令和15
第3次 横芝光町 総合計画	基本構想（8年）							
	前期基本計画（4年）				後期基本計画（4年）			
	前期実施計画（4年）※毎年度更新				後期実施計画（4年）※毎年度更新			

# まちづくりの基本目標

## 1. 郷土愛を育み、相互理解のもと、誰もが自分らしく生き生きと暮らせるまち

《基本目標》

子どもや高齢者、障害者などを支援するとともに、地域で互いに助け合いながら、誰もがその人らしく、健やかに生き生きと暮らせるまちをつくります。

また、児童生徒が健やかに学び育つ教育環境を整備するとともに、一人ひとりがいつまでも学び、スポーツを楽しめる環境を整えて、郷土を誇りに思えるまちをつくりまします。

さらには、性別や出身国などに関わらず、誰もが横芝光町の仲間として共に力を合わせる環境をつくとともに、自治会をはじめ地域活動に活力がある住民主体のまちをつくりまします。



芋掘り体験



きらり若返り運動



パラカヌー体験

《目標達成に向けた取組方針》

子どもや子育て家庭、高齢者、障害者などを地域ぐるみで支える環境づくりに努めるとともに、子どもや高齢者、障害者とその人らしく社会に参画できる機会づくりなどを進めます。また、健康に対する意識の高揚を促しながら、東陽病院を含めた地域医療体制の確保や社会保障制度の適正な運営に努めます。

横芝光町ならではの特色ある学習を展開するとともに、学びの拠点である学校の環境整備に努め、地域との連携により児童生徒を育成します。また、一人ひとりの意欲に応じた生涯学習環境や、文化活動・スポーツ活動を気軽に楽しめる環境づくりを進めます。

一人ひとりの人権を尊重し、多様な人が参画する社会の実現を目指すとともに、外国人も暮らしやすい地域づくりを進めます。また、自治会をはじめとする地域コミュニティやボランティアなどのテーマコミュニティ（特定のテーマに基づき活動する集団）の活動支援に努めるとともに、地域における活動の担い手の育成や、新たな活動の創出を促します。



地域福祉計画・地区懇談会



電子黒板を活用した授業風景



東陽病院



地域活動支援センター「たんぼぼ」



夏季ジュニアリーダー研修会



鬼来迎

## 2. 豊かな自然と共生し、安全で安心して暮らせる住みやすいまち

《基本目標》

暮らしを支える都市基盤を整備するとともに、豊かな自然と調和した快適に暮らせる環境を整備し、人と自然が共生する住みやすいまちをつくりまします。

また、地震災害や風水害、火災、病気や不慮の事故などから住民を守るとともに、犯罪や交通事故のない安全で安心して暮らせるまちをつくりまします。

《目標達成に向けた取組方針》

都市・交通基盤の整備に努め、まちの活力と住民の利便性を向上させるとともに、安全で快適な居住環境づくりを進めます。また、生活排水の適切な処理、ごみの減量化、自然環境の保全などに努めながら、地域を美しく保つとともに、河川や海岸、公園・緑地を適切に維持管理します。

一人ひとりの災害に対する意識を高めながら、地域の防災力の向上を図ります。また、広域的な連携のもと、消防・救急体制の強化に努めるとともに、警察をはじめとする関係機関との連携により、子どもや高齢者をはじめ、すべての町民を犯罪や交通事故などから守る環境を整備します。

さらに、航空機騒音対策の推進を図りつつ、成田国際空港への交通アクセス性などに優れた、空港と共生・共栄するまちづくりを進めます。



横芝光インターチェンジ周辺土地利用イメージ



交通安全教室



防災訓練



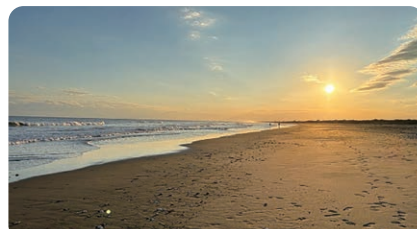
津波避難タワー



救命講習



乗山川ボランティア



雁形海岸



橋梁点検



排水機場（更新後）



横芝光号成田便

## 3. 地域の特性を活かし、産業活力と賑わいがあるまち

《基本目標》

基幹産業である農業や、商工業、観光などの振興を図るとともに、企業立地の促進や起業・創業などを促し、経済を活性化して活力あるまちをつくりまします。

また、生活の利便性の拡充を図り、魅力的な移住・定住の環境づくりや、成田国際空港と共栄するまちづくりを進めます。

《目標達成に向けた取組方針》

農業の担い手の育成・支援や生産基盤の整備・活用などに努めながら、農産品のPRや収益の向上による活性化を図ります。

また、情報交流拠点機能を果たす施設を有効に活用しながら、観光・交流の活性化に努めるとともに、広域交通の利便性を活かした産業立地や、起業・創業を促す環境づくりを推進します。

さらには、女性や若者をはじめ、町外からの移住者などにとっても魅力的な環境づくりに努め、移住・定住を促します。



産業まつり



梅まつり



駅前マルシェ



移住定住プロモーションポスター

## 構想実現のために

《基本目標》

住民の参加を得ながら、総合計画を基幹とした行政運営の確立や効率的かつ堅実な財政運営などを実現します。

《目標達成に向けた取組方針》

地域課題の解決に向け、行政運営の様々な場面において住民の積極的な参画を得よう努めます。また、行政評価の実施やDX、民間活力の活用などを通じ効率的で効果的な施策・事業の展開に努めるとともに、健全な財政運営を推進します。



行政総務員連絡会研修会



デジタルツール学習講座

# 前期基本計画 重点戦略

## 分野を横断する戦略

成田国際空港と圏央道を活かしたまちづくり戦略

本町にとって最も重要な分野横断的に取り組むべき戦略として、「成田国際空港と圏央道を活かしたまちづくり」を位置付けます。

本町は、日本の主要な空の玄関口である成田国際空港に近接し、その更なる機能強化を機会とした地域活性化が期待されます。また、本町は銚子連絡道路、国道126号など広域的な幹線道路により各地と結ばれているだけでなく、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）大栄JCT～松尾横芝IC間の整備により、広域的な交通利便性がますます高まるものと期待されています。

このようなことから、成田国際空港の更なる機能強化と圏央道大栄JCT～松尾横芝IC間開通の効果の最大化を図るため分野横断的な戦略に取り組まします。

### 《成田国際空港と圏央道に期待する効果》

- 若者の定住
- 広域交通網形成による交通利便性の向上
- 成田国際空港への交通利便性の向上
- 住宅、居住地の整備
- 航空機騒音対策等による生活環境の保全
- 町農産品の流通促進
- 観光客の増加
- 地元企業の成長
- 企業進出
- 雇用の創出
- 移住・定住の増加
- 情報発信の強化

## 分野ごとの戦略

未来を担う人を育て、一人ひとりを尊重するまちづくり戦略

確かな学力を基礎とした能力の向上を図るとともに、学校・家庭・地域・関連機関の連携のもと地域全体で子育てを支援し、自己肯定感を持ち続けた子どもたちを教える環境の充実を図ります。また、多様性を理解し、地域や様々なつながりを持ち、誰もが担い手となって活躍できる環境づくりに重点的に取り組んでいきます。

安全安心で、快適に暮らし続けられるまちづくり戦略

防災体制の充実を図るとともに、住民による自助・共助を基礎とした地域防災力と防犯力の向上や地域における交通安全に努め、安全安心なまちづくりに取り組みます。また、銚子連絡道路横芝IC周辺やJR横芝駅周辺、横芝海のこどもの国跡地周辺の拠点整備により、人々が集う場づくりを進めていきます。

農業の振興と、起業や創業を促すまちづくり戦略

農業に係る担い手対策や商工業・観光との連携、PR活動などに取り組まします。また、千葉県や横芝光町商工会などとの連携を図りながら起業や創業を支援するとともに、雇用や就労の機会の創出に取り組んでいきます。